メキシコからの留学生が日本の土木技術を学ぶ

6月26日、長岡技術科学大学のメキシコからの留学生9名が日本の土木技術を学ぶために国道289号八十里越道路の工事現場を見学しました。

この見学会は、長岡国道事務所が同大学の国際交流「ツイニング・プログラム夏期集中プログラム(メキシコ)」に協力し、実施したものです。

当日は、建設が進んでいる1号トンネル内部や5号橋梁の橋脚上部で工事担当者から工法などの説明を受けました。

留学生は、工事担当者からの説明を受けるたびに、多くの質問をしながら、 日本の高度な技術を学ぼうと熱心に聞いていました。



1号トンネル 内部にて工法・施工機械等の説明



1号トンネル 留学生の質問に身振り手振りを交えて説明



5号橋梁 橋脚上部に上る前に安全帯を装着



5号橋梁 地上70mの高さにびっくり!